京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通（電話六八〇三）

發行所 京城新報社

雜報

日露聯絡の協定

曩の日露聯絡協定會議に於ては彼我兩國代表者の間に意見を異にせるものある爲め遂に貨物聯絡輸送に關する妥協の成立を見るに至らず本月一日より東淸鐵道との間に旅客の結車聯絡を實施し貨物聯絡は賃率の改正を待ちて來る七月より聯絡を實施することゝなりたるに過日東淸鐵道副總裁ウエンチエル氏は東淸鐵道及び滿鐵の實地視察をなして貨物聯絡に關する調査をなし又本月初より開會中なる露國鐵道會議に於て日露間の貨物聯絡問題を議題として審議する所あり露國側に於ても當初の意見たる滿鐵賃率の引上は强ひて要求せざることに傾き來りたるものゝ如く去る十五日田中滿鐵理事は鐵道院及び大阪商船をも代表して露國との協定をなさむとの目的を以て既に出發したるが滿鐵側の意向は勿論賃率の引上には絕對反對の方針なるが如きも既に露國側の意向讓歩に傾き居れりといへば妥協協定の成立を見るに至るべき模樣

韓國の平和協會

此程韓國の志士沈澤は大隈伯を早稻田の邸に訪ひ伯の會長たる萬國平和協會の支部を韓國に設置せられんとの希望を述べしに伯は現下の情勢上統監府に交渉の上韓國平和協會を設立する方穩なるを說き尙行々は支那平和協會をも作り將來に於ては日淸韓を一團として東洋平和協會なるものを設立したしと語りたれば沈氏も其意を諒とし之が設立を期する爲め歸韓の途に就たり

韓鐵の給炭契約

近時撫順出炭高の激增に伴ひ各地方への輸出漸次增加し筑豐炭との競爭も亦激甚を加へ昨年度よりは更に韓國鐵道の筑豐炭買入契約を打破して四圓五十錢の低廉なる價格を以て滿鐵及び韓鐵間に賣買契約成立し昨年度のみにて八千噸内外の輸送ありたるも滿鐵側にては此際價格の引上を希望し居れるより九州の炭礦業者の間には此期に乘じて逆襲の運動を試みむと畫策し居れる向もあり又もや兩者の間に競爭を激起するに至るべき模樣なるも結局は幾分か價格を引上げて滿鐵との間に近く契約成立すべしと聞く

韓國耕地の面積

農商工部最近の調査によれば韓國全道の既耕地及未耕地面積は左の如し

道別	未墾地面積（町）	既墾地面積（町）
京畿	一三二、五六八	一四四、九六〇
忠北	六三、六二五	一七一、五七七
忠南	一五、三三三	九〇、一七三
全北	一四六、七三三	二四〇、一六六
全南	七三、八七七	一九一、六三三
慶北	二六、四三三	一九四、一四一
慶南	八三、六九八	一五九、三〇三
江原	五三、四八九	三六、四三三
咸南	八五、八〇四	七七、七七七
咸北	一三五、六四二	四三、八九六
黃海	一二八、三五三	一六二、八〇七
平南	八六、五〇〇	一二七、〇〇五
平北	二一〇、五〇五	七六、三四四
計	一、二〇〇、三九七	一、八〇六、三三七

社會黨の結黨式

李基斗、閔泳渙等發起となり社會黨なる一政社を組織し來る五月一日普成中學校に於て結黨式を擧行する筈なるが其の綱領は左の如し

一、民族の生活方法を開導す
一、民族の妄動原因を矯救す
一、民族の自治精神を培養す

●爆發物漁獲の取締

數年來韓國南海岸に於て鰯の群集せるに對し爆發物を使用し捕獲するもの出で年を經るに從ひ漸次區域を擴張され昨今八百餘人等も又俄に增加し沿海各道の漁場に現はれ跋扈跳梁を逞しふするを以て正業者の漁獲は減少し多大の損害を蒙り殊に漁類繁殖を害する事尠なからざるを以て各理事廳にては鋭意之が取締に從事し居れるも何分秘密なる妙手段を以て而も海上に於て人目を忍び行ふものなれば其取締に頗る苦心しつゝあり偶々警察當局に於て之を檢擧し得たりとするも現在の法規にては僅に十圓の罰金に處せらるゝのみなれば何等改悛を促すを得ず彼等不正者は十圓の罰金を輕視し右に放てば左に行ふの有樣なるを以て水產當局者に於ては大に之を遺憾とし尤も嚴酷なる制裁ある完全なる取締規則制定せんとて目下專ら其起草中なりと云ふ

●蔘圃業振興の福音

開城地方に於ける一般蔘業者は頻年の病害により頗る窮乏を極め本年の收穫の如き水蔘三千斤と假定し賠償金額に一萬五千圓先交付を受べき金額は一萬圓にも充たす爲めに不當の高利を融通する者頻出し蔘業上實に寒心に勝へざるより當局に於ては農銀をして七分五厘なる低利により尙ほ且つ特別の便宜を與へし結果一般蔘業者は旱天の雲霓と歡び七日より九日迄三日間に七万五十六圓を貸出尙ほ二萬三千圓貸出の豫定なるが折節二月末の大決算期に會し蔘業者の歡喜は譬るに物なく多年の愁眉を披きしと同時に蔘業振興上大なる福音を傳ふるに至れりと

●李甲の行衛に就て

李甲、安昌鎬、李鍾浩楊基鐸の行衛に就ては今尙ほ諸說紛々たるが彼は現に上海を經て杭州へ赴けるを其筋に於て確め得たるが如し而して彼等が失踪の徑路を聞くに例の政黨組織資金九千餘圓を蒐服して跡を晦ましたり當時は南大門外金弼淳方に隱れ居りしが追跡日に急なるより平安北道朔州へ赴くと稱し同家を出で其實鎭南浦に現はれ三和館にて安李楊の三名と會合し鴆首密議を凝らしたる末淸國帆船に搭じ相携へて芝罘へ渡航せる形跡あり更に同地より外國船にて上海へ航行せるものゝ如し夫れより杭州へ赴けるものなるが同地には多くの排日韓人あり且つ故李容翊が軍部大臣たりし時軍隊用糧食として阿南米を購入すべく同地ホームリンガー商會に現金二十萬圓預托したるを以て之を引出さん爲め特に李容翊の孫李鍾浩を唆かし伴ひ行けるものなりと然れば此頃某紙に掲載ありし間島行の說は全然無根の臆說ならんと云ふ

●岩田檢事正の訓諭

本月廿二日岩田檢事正は忠北堤川警察署に於て書類整理及司法事務取扱に對し懇諭する處ありたるが其主なる事項は由來韓巡査は犯人逮捕上何等の特權なく常人に等しきにより犯人逮捕に就ては被捕者より抗爭の場合に於ては其責任を問はるべき危險を有せるが故其心得を以て事務の執行に當るべき事拷問は可成控へ根氣よく訊問を爲すべき事重大若しくは將來增加の傾向なる犯罪の檢擧には尤も力を致すべき事富力增進に必要なる賭博的の取締は例外とし微罪不檢擧に就ては被害者を滿足せしむる事等なりしと

●太平洞附近の平穩

平南鐵道沿線太平洞停車場新設立地附近より江西方面に亘り去二月下旬頃より三月中旬に及び拳銃單銃等を携帶したる十數名一團の賊徒出沒し韓人部落を襲ふて頻りに良民の生命財產に危害を加へたるが其後三月中に於て我憲兵警察官等に於て組織したる聯合の大討伐あり賊徒の出沒地とも稱すべき同他一帶の地に對し大々的搜査と掃蕩を實施して以來彼等賊徒は全く其影を潜め目下頗る靜穩に歸したりと云ふ

●暴徒討伐の週報

四月二十日より二十六日に至る間に於て賊徒に與へたる損害左の如し

	死	捕虜	鹵獲品
南部守備隊	二	二	銃一
憲兵隊	二	二	銃一
警察官	二		銃五刀四

日本銘刀傳

第百席 津田近江之守（四） 邑井一講演

○「オイ岡島さん、先刻お前さんから貰つた四百兩のうちに、一寸十兩程見惡い小判があるから、何うぞ之れを引替へて下さい」八十「アー左樣か」面倒臭いとは思ひましたが、小判を檢めますると小判は確かですが、少し磨痕が出てございました、ソこで是を替へて遣りますると、其儘引取つてしまひましたが又入れ代つて暫らくすると一人遣つて來ました△「今方貰つた拾兩のうちに又た二兩許り見惡いのがある、一寸是れを替へて與れよ」とのことでございます、八十右衛門は是れを聞いて、大野にはムカ／＼致して居りますから心中立腹致しまして 八十「何故其樣に度々來るんだ、汝の御主人なぞは四百兩と云ふ大金ではないか、また是れまで御實藏に納つてあつた金子で諸金は一枚としてないが、少々磨れて居る位は我慢をしたら何うだ、先刻持つて行く時檢めて歸つたではないか、斯かる忙がしい折から、二兩や三兩の金子で然う度々來る奴があるか、面倒臭いことである」と云ひながらも漸う此の金子をはかつて遣りました、すると大野九郎兵衛は使の者より此の儀を聞きますると、ナニ岡島奴が生意氣なことを吐した、何と心得て左樣なことを、而も家老たる俺に向つて申したのだ、さ止せば宜いのに早速奉行所へ遣つて參りました、見ると岡島は大勢を相手に引換へを致して居ります 九郎「コリヤ岡島、此方が見惡い小判を換へに寄越したら、何故汝は小言を言つた、ウム見惡いから見惡いと云つたが、何うした」八十「イヤ是れは御家老樣だから換へ申した、それで宜いではござらぬか」九郎「イヽヤ宜いでは濟まぬ、生意氣なことを云やアがつて、假令一分の角一枚でも、通用しない物が、受取れるか乃公に對して怪しからぬ、何と云ふことを申て居る、ムヽツ御用金の内に見惡い小判のある筈はないのださては汝が何處から惡い小判を手許へ廻して夫を引換て横領しやうと云ふ考へだな、金奉行などゝ申して表面は立派に見えて居ても、其の實は拾で泥棒に等しい所の擧動をする奴だ痴漢奴、家老上席たる此方に向ひ、痴漢奴とは何と心得て居るか」威張りながら其儘大手を振つて歸つてしまひました、流石の八十右衛門も是を聞くと、滿面朱の如くに相成りまして、汝れ不埒なる奴である、と、憤ほりましたることでございまするが、何を申すも勤役中でございますし、左樣なことを憤ほりまして、若しや勘定などを取違ひましてはなりませんから、チツと無念を耐へて、汝九郎兵衛何うするか、役目を果したる其の上にて、乾度彼れに目に物見せて與れやうと、ブル／＼身を慄はして居ります、一統の面々は岡島の顏を見て實に驚きましたが、漸くのことに大抵夕景までに、皆夫れ相當滿方を致しまして、されば帳面にチヤンと記けて置きましたが、先づ漸くのことに七分通り片附いたのでございます、そこで餘は其金額は是れ／＼殘金が是れだけと云ふことをチヤンと明細に認めましたることでございます、そこで其金子を持參致して大石の許へ遣つて參りました、何して其氣なき體にて是れを手渡し致して、其身は役目を果たしてしまひ、自分の屋敷へ立歸りましたが、忽ち夕飯を喫べ終りまするると、其儘三尺に餘れる所の强刀、是れ世にも珍らしい津田越前守高木近江守父子の者が合作致したる稀代の名刀、必ず今日は彼れの首と胴との生別れを致さして與れやう、最覺する是れまでは彼れは大身で家老であるから、我慢を致して居つたが、もう斯くれ家が潰れて見れば、家老もへちまもあつた者か、卒でや吾腕前の程を見せて與れんと、丁度暮れて間もなき頃ほひでございましたが、大野九郎兵衛の屋敷へドシ／＼乘込んで參りました門を這入つて玄關先に突立ち上り 八十「頼む、れ頼み申す」と大音聲に呼ばはりました、すると若黨一人、此聲に驚き何事やらんと立出で見まするとと、腕捲りを致し一刀の鯉口を寬げ玄關から飛び込まんと云ふ勢ひでございます



東京電報

▲外債の條件發表 巴里に於て成立したる外債の條件發表せらる募債總額四億五千萬法にして利子四分發行價額九十五法半十箇年据置五十箇年償還五月十六日全額拂込にて手數料を引き手取九十一法なり(廿八日)

▲大隈伯爵の西下 大隈伯は夫人同伴五月一日新橋發西下各地を巡遊する筈なるが同行者は高田早苗、浮田和民兩博士、諸富、朝倉田中の五氏なり(同上)

▲法典編纂の中止 韓國法典編纂顧問梅法學博士の手許にて調査中の韓國諸法典着々として脫稿するも局面展開と共に實施するの必要なかるべしとて中止說盛に行はる(同上)

▲安奉沿線の守備增置 安奉沿線に於ける我守備兵は從來主要驛に配置せしが今回は大小驛に悉く相當の人員を配置する事に內定せり又支那政府は巡警及兵士三百名を增派する由(同上)

▲伯國移民と政府 伯剌爾國リオデジャネイロに資本携帶日本移民を移住せしめんと大野某は同國政府と交涉を重ね此程契約を締結したるが外務省が調査したる處によれば同耕地は久しく荒廢の儘に委しありたる處にして豫期の目的を達するや否頗る疑問なるを以て不許可となれり(同上)

▲正金銀行の擴張 政府は正金銀行をして滿洲に於ける金融機關たらしめ十分活動をなさしめん爲其權限を擴張する命令書を一兩日中同行に交附すべし(同上)

▲學制案は延期乎 學制改革案に對する兩大學の態度漸く鮮明となり其他各派とも愼重課査を標榜し各派とも態度頗る强硬なれば最早延期は殆んど避くべからざる趨勢となれり(同上)

▲市長會議開會 全國市長會議は本日午前十一時愛知縣會議事堂に於て開會來會者は五十三ケ市の市長助役市參事會員等なり(同)

▲伊太利博覽會出品 伊太利萬國博覽會本邦出品は各府縣に對し其主なるもの丈けは指定出品勸誘に着手したる由出品協會は出品人心得竝審査規則等の認可申請中なり(同上)

▲南京博覽會遊覽團 阪神の實業家より成る日清實業會の南京博覽會觀覽の遊覽團體は一行四十四名にて來六月十日神戶發上海杭州遊覽の上南京博覽會を觀覽揚子江を溯り芦漢鐵道にて北京に出で更に滿洲を巡遊韓國を經歸朝旅程約一ケ月の豫定なり(同上)

▲韓太子の行啓決定 韓國皇太子は來月六日午前八時半新橋發名古屋共進會に行啓の事に治定相成たり(同上)

▲外債の調印發表期 英國に於て成立したる外債一千萬磅は同國豫算通過を待つて調印を行ふ事に決定したるを以て本明日中調印發表せらるべし(同上)

▲外債成立と條件 我水町財務官とロスチャイルド氏との間に交涉中なりし外債發行は左の如く協定せられたり

發行總額四億五千萬法發行價額九十九法半手取九十法乃至九十法半手數料四法稅金其の他一法据置期間十ケ年償還期間五十ケ年

尙ほ水町財務官は巴里に於て一億七千萬圓發行に關し協定を遂げ直ちに倫敦に向ひたるが巴里到着以前外債借換に就ては大体に於て同地資本家との交涉進捗し居たるものにして今次は其の細目に亘りて協定し本月末か來月上旬迄でに調印を濟し目論見書を發表して其の賣出は來月十日前後となるべし又政府は一兩日中發表の手續を了するに至るべし(廿九日)

▲國債整理の段落 今回新外債により在外据置き五分利付一億圓を剩し最早五分利付內債償還の現金に差支なきに至りたれば來月上旬中內債償還の殘部一億六千萬圓償還を發表之れにて五分利付公債は內外とも償還を完了する都合なり(同)

▲日英博の開場期 日英博覽會は五月十二日開會式當日より直に公開する由農商務省に電報ありたり(同上)

▲船舶と無線電信 今回遞信省告示を以て各船舶無線電信及郵便局の所屬局左の通り定めらる

阿波丸郵便局及無線電信熱田丸、丹波丸、地洋丸、天津丸、日本丸以上は橫濱春日丸郵便局、壹岐丸對馬丸以上は下關香港丸無線電信嘉義丸、佐渡丸、鎌倉丸以上は橫濱信濃丸無線電信以上神戶

▲個人の損害調査 日露戰役に際し個人の損害賠償救恤は外務省に於て來る七月中に調査を終了し之れを大藏省に廻付すべし(同上)

▲外債借換の成立 我が政府に於て過日來水町財務官を通じて佛國資本家と交涉中なりし外債借換は巴里にて成立し其の總額は四億五千萬法にして利率は四步發行價格は九十五圓五十錢十ケ年据置き五十年目にて全部償還する契約を以て決定せる旨大藏省は今二十九日發表せり(同上)

▲海事協會總會 帝國海事協會に於ては來る五月七日午後一時より東京商業會議所內に總會を開く事に決し當日は有栖川宮總裁殿下の御代理として齋藤海相臨席すべし(同上)

▲造船規程の大改正 近時世界造船業の發展に伴ひ今回ロイド社に於て造船規程に大改良を加へたれば我が當局に於ても大に考慮する處あり右改正を參酌して造船規定の改正を斷行せんとの議あり其の大体は左の如し(同上)

一、使用鋼材の厚に於ける單位を小にしたる事
一、船舶の重量を減ずる事
一、二千噸以上の船舶に對し二重底を廢する事
一、試驗制度を改良する事
一、機筒水壓を減ずる事以上

▲樞密院會議の內容 本日宮中東溜の間に於て樞密院會議を開き臺灣阿里山事業所事務官特別任用令府縣警部及警部補任用令及臺灣國語學校に關する件に就き審議したり(同)

▲安奉線敷地代支拂 安奉線敷地代は五月一日より支拂を開始すべし(同上)

北京電報

▲奉天巡撫の更迭 奉天巡撫鄭德全江蘇巡撫に任せらる(廿八日)

▲湖南暴動と賠償 今回の湖南暴動に關し其損害賠償として英國は三千萬兩を日本は五百萬兩を要求すべしとの報傳へられ在京湖南人は會議を開きて右要求を拒絕すべしとの決議を爲し各鄕黨に打電したり(廿九日)

雜報

▲東藉田の親耕式 韓皇には來月五日東藉田に行幸して親耕式を行はせられ仍洪陵を展謁遊ばさるゝ旨仰せ出されたるが出宮時刻及び御順路左の如し

午前九時敦化門出御、罷朝橋、太廟前路、梨峴二橋、興仁門、東關廟後路、先農壇洞口を經て東藉田に臨御して親耕式を行はせられ午後一時三十分出御先農壇洞口淸涼里を經て洪陵齋室に御入、同二時三十分展謁の上同三時三十分御還宮の筈

▲谷田中將の謁見 目下滯京中の憲兵司令官谷田中將及同副官千々和中尉は石塚總務長官の帶同にて三十日午前十一時昌德宮に參內韓皇に謁見敬意を表すべし

▲京城の煙草稅騷 地方に於ける市場稅騷ぎ漸く其跡を絕ちたりと思へる今日京城市內に於て煙草稅徵收上に就き一悶着を起せり事は數日前東大門內梨峴市場に於て漢城財務署員が煙草稅を徵收せんとしたる處無智の韓人は煙草稅の何物たるを解せざると徵稅吏が徵稅上聊か苛酷の點ありし爲め茲に紛爭を起し或は騷擾も爲しまじき氣配ありより其筋は万一を警戒して事無きに終りたるが東大門外往十里に於ても煙草稅問題より又々紛爭を起し去る二十七日以來各商店閉戶して業に從はざる有樣なれば是亦万一を警戒し居れりと

元山地方の不穩

咸鏡南道元山警察署管內馬轉洞に二十八日午前一時頃多數の暴徒來襲し其勢頗る猛烈を極め一邑爲めに危からんとするを同地駐在日本人巡査二名韓人巡査一名急を聞きて直ちに擊退に向ひたるが激戰數時間に亘り暴徒に多大の損害を與へたるが如き衆寡素より敵すべくもあらず已むなく日巡査一名韓巡査一名は血路を開き一時退却して本署へ馳せ歸り其旨報告に及びしかば本署にては直ちに討伐隊を組織して現場へ急派せしが暴徒は既に逸走して跡を留めず巡査鈴木政昌氏は此戰鬪に於て遂に戰死せりと其後の狀況に就ては目下調査中なれば更に報告あるべき筈なりと

●德壽宮の財產整理 德壽宮御料用として皇室費より支出せる豫算は年額三十萬圓なるが元來豪奢華美を好まれ賜ふ太皇帝には該金額にては到底不足勝にて御不滿の程恐察に餘りあり然れども同宮には特別の御手許金現存し其額亦尠からざるが近侍の奸臣等太皇帝の御歡心を迎ねんと欲して該金を窺ひ或は君寵を竊して非違を企つる等の事屢々演出せられ之が爲めに帝德を傷け奉るの不祥事尠しからず故に宮內府にては津輕書記官に命じて同宮の財產整理を行はしめ居れるが其進行上不用貴重品等の散佚せられ居るものは一々之を指示して倉庫へ藏めしめたるに痛く太皇帝の逆鱗に觸れ折角整理し奉らんとするに却つて御神經を惱まされ居れる由

●太皇帝と玉璽事件 趙南升等の玉璽僞造事件が德壽宮に傳へらるゝや太皇帝には甚く御軫念あらせられ直ちに趙承宰府總管を召され事の眞否を御下問ありたるか既に趙南升等の獄舍に投せられたるを聞召さるゝや御顏色俄かに變はり憂愁に沈ませられ侍臣一同頗る恐懼の體なりしと尙太皇帝には每日侍臣に事件の進行を御下問あるやに洩れ承はる

●國有地調査終了期 國有地調査完了は五月中を以て終結する豫定なりしも途中意外の支障に遭遇或は机上調査案の整理等に案外手間取り殊に外部所管は部內整理の都合上本年は三月より開始したるか如き始末にて進行豫期に伴はず併し當局に於ては八月中を以て是非終了せしむへき決心の由なるが目下各道六拾の調査班により着々調査進行中なりと

●舊跡の保存と植樹 開城滿月臺及善竹橋等は箕子の舊都として著名の地なるか漸次廢頹に歸しつゝあるを以て同地方有志相謀り舊跡保存上同地の土砂採收を禁止し滿月臺に三千三百本、善竹橋に三百本の檜、松桃を植ゑたりと

●新任道主事と分擔 內部にては今回道主事二名宛增員配置する筈なるが其擔任事務は一名は地方主任を一名は會計主任を命じ一般行政の刷振と共に大に稅務行政及會計整理上の改良を期待する筈なり

●滊車博覽會の通過 朝鮮新聞開催の滊車博覽會は到る處非常の好評なるが二十九日午后六時半龍山に着車し一時間半停車し直ちに京義線に移り三十日は開城に赴く筈なりと

●農事視察團に戒告 東洋拓殖會社にては昨二十九日農事視察團一行を集め發程後に於ける各事項に關し懇篤なる注意を爲したりと云ふ

●普通學校の職員會 漢城府內公立普通學校敎職員は廿九日午後一時より漢城府に於て職員會開催

●內部運動會準備 內部及所屬官廳聯合大運動會は愈々五月八日を以て開催の筈なるが奇拔なる數番の競技は勿論餘興として假裝行列、相撲、擊劍等の催ほしあり會員約八百と稱せらるゝことなれば定めし盛會を極むるならん因に會場は目下委員を設けて詮議中

●仁川學校運動會 仁川韓人側諸學校聯合運動會を三十日禾洞に開催の筈

會議所半數改選

當商業會議所議員の半數改撰は定款に因り來る六月執行せらるゝ筈なるが所謂元老派は此際候補を避けて新人物に椅子を讓らんと目下寄々協議中なりと傳へらる

各地の穀物相場

度支部の調査に係る四月四日各地に於ける穀物相場左の如し尤も品質は中物標準

	籾	玄米	大豆
仁川	四、一	七、二	六、六〇
江景	三、二	八、〇	六、一五
群山	三、七	八、〇	六、五五
木浦	三、六	八、三	六、〇〇
馬山	五、（白種）	八、六	五、五〇
	四、二（韓種）	…	…
密陽	四、三	八、八	五、八〇
海州	二、八	七、五	五、五〇
鎭南浦	三、一	七、五	六、〇〇
龍岩浦	四、一	八、八	六、五〇
平均價	三、六八一	八、〇二	六、一七

谷田司令官の日程

谷田憲兵司令官滯京中の日程左の如し

▲二十九日 午前大久保軍司令官を大觀亭に訪問し夫れより龍山軍司令部師團司令部に赴き午後統監府を訪問し京城憲兵分隊及分遣所を巡視し午後六時より石塚總務長官主催花月樓に於ける招待會に臨む

▲三十日 午前十一時參內韓皇に謁見午後一時より大久保軍司令官主催の大觀亭午餐會に出席夫れより昌德宮動植物博物館秘苑參觀後六時より榊原憲兵隊長の擲翠亭に於ける招待會出席

▲五月一日 仁川憲兵隊其他視察

因に同司令官は三日釜山に出て同地出帆の滊船便にて西湖津に上陸咸興に赴き四五日滯在來月十五日迄でに東京に歸還すべし

市場紛擾事件報告（京城商業會議所報）

南大門及東大門市場騷擾事件に關し解決の勞を執れる吾が商業會議所の報告せる大要左の如し

去二十三日南大門及東大門市場內煙草商三十一名突然休業し多少不穩の舉動あらんとするを聞き居留經濟界に最も深き影響あるべきを以て直に其事情を調査し漢城財務署に交涉を遂げ二十六日無事解決を爲すことを得たり今其顚末を叙述せんに煙草稅は卸賣一箇年十圓小賣一箇年二圓を徵收する規定なり然るに昨年度は總て小賣業と見做し課稅したるも本年度に到りて卸賣兼業を認定して兩稅十二圓を付課せるのみならず昨年度分をも調定漏として合計二十二圓を納付すべく告知せり之に對し本年度分は異議なく承諾したるも昨年度は納入の理由なしとて一人の之に應ずるものなく茲に於て財務署員は法律を楯に强制執行に着手し其權勢當るべからず寧ろ亂暴がましき行爲を以て之に臨めるより遂に閉店せるものゝ如し而して今回の閉店は地方の夫れの如く單に稅金免除を得ん爲めに非ず全く當局の處置橫暴を極め遂に餘儀なく閉店せるものあり取引關係を有する日本人側商人の等しく認むる處なり然れども韓商に對しては閉店休業の不得策なるを悟り一刻も早く開店すべき事及當局に對し交涉解決の勞を執るべきを約し尙は解決を見るまでは斷じて差押等の强制的誅求を爲さしめざるを誓ひ漸く二十三日より開店せり其後財務署及司稅局に交涉し意見を開陳せるが財務署は飽迄徵收を主張したるも司稅局の注意ありたりしものゝ如く二十六日遂に會議所の意見を容れ昨年度分則ち卸稅十圓三十二人分三百二十圓を徵收せざる事に決定し依て韓商三名及韓國商業會議所に招き交涉の顚末を說示し尙は將來納稅に就き誤解の事なき樣懇に注意を與へたるに彼等も非常の喜を以て厚意を謝し茲に圓滿に解決せり云々

●大久保局長の巡覽 大久保商務局長は廿九日午後中村農務局長の案內により纛島園藝模範場を視察したるか三十日は午前九時小川事務官の案內にて工業傳習所を參觀し歸途宮內府博物館動植物園を觀覽したる後谷田司令官等と共に韓皇に謁見の筈也

●大久保大將の招宴 三十日大久保軍司令官は官邸に於て谷田中將、大久保商務局長を主賓として午餐會を開かるゝ筈陪賓は松永中將、榊原少將、俵次官、櫻井局長、菊池局長及び岡本軍參謀等なりと

●谷田司令官歡迎會 二十九日午後六時三十分より石塚長官の主催に係る來京の谷田司令官の歡迎會を花月樓に開催出席者氏名左の如し

石塚長官、藤田軍醫監、榊原少將、石井少將、國分參與官、時尾營林廠長、土屋大佐、岡本參謀、山形中佐、藥師川少佐、千々和中尉等なり

●東拓株統一の傾向 東拓會社株式持主は創立當時の性質上自然多數にして六千百餘名を算せしが現在は六千以內となり一二株の小株主は次第に統一せらるゝの傾向ありと

●衛戍病院長の更迭 步兵第廿三聯隊附兼平壤衛戍病院長陸軍三等軍醫正內藤敬一氏は兼職を解かれ步兵第二十九聯隊附三等軍醫正伊藤泰助氏平壤衛戍病院長兼職を命せらる

●度支部次官の東上 既報の如く荒井度支部次官は不破事務官を隨へ三十日午前九時南大門發東上の途に就かるゝ筈なるか用向は財政重要事にして往復四十日間の豫定なりと

●大久保局長仁川行 大久保農商務省商務局長は視察の爲め昨二十九日午前中仁川に赴きたりと

●岡內部次官歸任期 本月末歸任の豫定なりし岡內部次官は來月中東京出發歸任するに決定せり

●岡正矣氏の出發期 鐵道院官房に轉任せし參事岡正矣氏は五月一日午前九時の列車にて出發の筈

●澤田地方局長歸任 去る二十八日午後七時十八分澤田局長は松原より南大門驛着歸京せり

●義州觀光團の歸國 義州府尹統率觀光團一行廿三名內六名は二十八日夜無事京城に歸着したり

●大岡力氏の歸京 久しく上京中なりし大岡京城日報社長は昨二十九日夜南大門着の列車にて歸京したる筈なり

●長谷川與一郞氏 陸軍二等軍醫正長谷川與一郞氏軍司令部附を命せらる

●佐久間貿次郞氏 佛國金鑛技師の同氏は二十八日釜山より原金投宿入京

●江口顧問の出發 淸國巡警顧問江口管太郞氏は廿八日出發安東縣に向ふ

龍山通信（廿九日支局發）

▲谷田中將は昨二十九日千々岩副官及京城憲兵隊副官松村大尉を隨へて來龍軍司令部を訪問し憲兵隊を巡視し後憲兵分隊の檢査を行へり▲二十九日午後七時より龍山民會開會さる議題は課稅等級査定に關する件▲大坂發南大門驛着貨物中紡績糸運賃は發着手數料共一個三百三十斤以內は三圓綿糸は一個二百斤以內一圓四十四錢と特定されたり▲龍、吹、遊運賃に就て內地線及韓國線特定發着驛及運賃左の如し

一個百三十五斤十六才以內に付發驛

土山、姬路、網干、飾磨、福崎、甘地、明石は五十錢、福山五十四錢、尾ノ道四十五錢、大阪五十四錢、吹田六十錢（手數料を含む）

韓國線內着驛は大邱、太田、烏致院、龍山、南大門、仁川、平壤、馬山、天安、平澤、新幕

▲此程渡邊五郞氏等が內部の認可を得たる龍山河岸埋築の件は目下夫々準備中なるが來月中には起工の運びに至るべしと

▲治外法權▼

此間のセウルプレスにアクチング、デレクタア、ヂエチラル、オフ、ゼ、レシデンシエーヂエチラルとメヂアヂエチラル某とがれ揃ひで仁川へ行つて來たと書いてあつた、某外人該記事を見て記者に問ふて曰く一体統監府には將軍が何人居ますかと▲國分參與官が歸つて來た。君語つて曰く曾禰統監の病氣は昨今次第に快方に向ひ食物も充分に執り葡萄酒を愛用せらると、又曰く子爵は三週間內に出發歸任すべしと語られたりと▲西湖大人の症名が鶴に非ず、鴨に非ず、而かも正眞正銘のガンなることは平井軍醫の診斷で判つて居る、亦大人が過去半ケ年間オートミルと牛乳許りで生きて居ることも本人の言ふところで判つて居る、ソレに何ぞ正直を以て聞ゆる國分君までが好加減な出鱈目を云ふとは▲亦々七十人許り新參邦人官吏の輸入があるソウだ、之で見ると例の地方行政の改善とやらに取掛かるのかも知れぬ、シテ見ると合邦の夢は當分ダメと極つたのか、何にしても官吏を澤山輸入して役所を賑かにさわすれば夫れで西班牙式は完成する▲統監府から第三次統監府統計年報を贈つて來た、一寸擴げて見ると朝鮮の事何もかも統監府がやつた樣に見ゆる併し仔細に見ると統監府がやつた事は何も無い樣に見ゆる▲土地調査局が愈仕事に掛るとの事だ、總ての空論は拔にして此仕事だけは一日も早く着手させたいものだ八年八年と永い樣に云ふが八年はすぐにたつてしまふよ。



名妓洗髪のれ妻(六)

▽一口食べたが身の詰り
▽惚たが爲せる喧嘩三昧

市村と初めの夜は、私は其んなでベロ／＼に酔つてゐました市村は横濱へ歸らねばならんのでしたが何にか斯うグズ／＼して中々歸りさうも無いのです、遅いから御歸んなさい／＼と云つてるうちに終列車が無くなつたので、仕方なしに泊める事になりましたが、若いもの二人限りも何ですしといふので妹やれねといふ妓を二階へ上て、四人で床を並べて寢たのでしたがね、ツイ可笑しい事になつて了つたが二人とも好い氣なものパツト世間に知れてはといふので其夜に二人は分れる約束だつたので、どふのも其の頃市村はれ酌でゐたれゐんさんと逢つてゐたので、私もれゐんといふ妓が好きなので、夢々二人が仲を裂かうな事は思ひもせんでしたものですから、甚だ日さかひ屋でれゐんを貰つて、二人を逢はせてやらうと思つたのも、少しは私も氣がさすものでしたからね、處が其日れゐんは約束があつたので出來なかつた▲斯んな調子でもつて、私は市村とはチョイ／＼逢つたのでしたが、極内にやつてゐたのですが、人氣商賣のものがないかれこれ半年ばかり後の事でした小林さんの座敷で藝者亭へ行くと、市村が其の晩の歸りに市村を家へ送り込んで私も度胸を据ゑて遇つた、もう二人とも上氣てゐて兜も錣も脱いちやつた、少しは自棄糞で大つぴらになつたので、人もやう／＼知て來ましたので▲市村と何かの仲は隨分長い事でしたもの其間には色々な事もありました、私が棄てられたり出たりしてゐる間、ズツト市村が附てゐる、害の處も市村がゐる爲に私は何處にでも幸抱が出來なかつた、互に苦勞の多かつたのですが私がさう思つてゐるます一生に市村の如な親切な男は二人とはりませんよ、卅一の年に私が大病ひをしました時などは、日毎夜毎に見舞に來て呉ましての親切たらありませんでしたが、其代り隨分のヤンチヤで、もう／＼困切た事は屢々私が藝者をしてゐて座敷があつて出掛やうとすると、乾度ゾブクリ出すのです、何時かもれ花を引いてゐたのですが、時間が來たので約束に出やうとすると、怒り出して座敷なんかへ行かなくて好い金が欲しければ俺れが玉祝儀を附けてやるといふて金を叩きつける馬鹿／＼しい、其んな事をしてゐられませんもの喧嘩するのですが己れの金が通用せないのかと云つたやうな調子です、終始喧嘩をするのですが、其れが又面白いのですね、惚れ切つた仲はそんなのが樂しみなんですよ、夫れで一度も市村が濠へ飛込んで身投をした面白かつた話があります。

韓女の自殺詳報

▽返金の見込なきより
▽老人亭便所内の悲劇

昨紙に大和町の女殺しと題し不取敢報道する所ありしが該事實の眞想を探りたるに其の筋にて取調の結果自殺なる事判明せしが其の原因及事實を記せんに自殺者は京畿道開城府南部放造井里團金洞三十七統四戸禹姓女(四〇)にして禹姓女は去る頃或る要件の爲め金員の必要を生じ平素より懇意なる同洞居住の林澳重(三三)に調金方依頼せしより林は馬召史なる者より金五十五圓を借用して内金四十圓を禹姓女に渡し十五圓を自己に費消せり然るに該金返濟期に至り債權者は借主たる林澳重に督促するも言を左右に托し支拂ざるより馬召史は林に對し開城區裁判所へ貸金請求の訴を提起せしに林は自己が借用費消せしにあらず禹姓女の借用したる者にて單に世話人に過ずと抗辯せしも遂に敗訴の言渡を受けたるより不服を申立京城地方裁判所に控訴せしより審理の上禹姓女を證人として一昨廿八日呼出しぬ依て禹姓女は呼出に應じ知己なる大和町三丁目老人亭番人なる李斗錫(五〇)方に廿七日夜來宿し廿八日地方裁判所へ出廷訊問を受け同日午後一時三十分頃李斗錫方に歸りたり依て李斗錫方に於ては晝食を進めたるに禹姓女は腹がすかないから食ぬと云ひ便所に行くと立ち出でたるまゝ一向歸り來らぬより李斗錫は不審に思ひ外に出で四方を搜せしにこは如何に便所内に頭部を入口に向け俯向き様に打倒れて鮮血に塗れ絶息し居るより吃驚仰天一大事と大和町派出所へ急報せしより巡査現場に出張し取調べたるに他殺の疑あるより南部署よりは森警部韓人警部外巡査を同伴檢視し取調べたるに鋭利なるナイフを以て横一文字に四五寸位頸部を切り自殺を遂げしものなること判明したりと因に禹姓女は裁判所に於て取調を受け四十圓の借金が五十五圓となり支拂の出來ざるに煩悶して自殺せし者ならんと死体は禹姓女の親戚金奐祥に引渡したりと云ふ



女振り

小杉謹八氏夫人 小杉かつ子

生れは東京日本橋は通三丁目で實家の御商賣は服地商の富田さんと云つて丸善書籍會社の隣である、昨年であつたか雇人が火を失した爲に尠なからぬ迷惑を感せられた樣であつた閑話休題夫人は此の花のれ江戸の眞中で水道の水で産湯を使つたので從つてれ城の鯱鉾も横目に睨まれたら、中橋の時計臺も眞正面に睨まれたら、女中の脊に負はれて五郎兵衛町邊で文字燒きの土瓶や鍋やも買はれたらう、買はれたが故に何うと云ふのでない、蜜豆と文字燒きのバツチー味を知らないものは江戸ッ子趣味を解せぬものだが夫人は必ずこれを解せられて居るだらうと云ふのである、夫人と云ふと程の年ででもあるかの如に聞ゑるが當年ヤツト二十一で純然たる下町の娘さん風の上に非常にれ美くしいので知らぬものは小杉さんの夫人は藝妓ぢやないか、イヤ藝妓だと斷定してるもあつた、失敬な申分には相違ないがれ實家が檜物町なんて云ふ粋な土地に近い爲もある、小杉さんは斷る迄もなからうが明治町二丁目の富士商會主で同町日韓印刷及藤田合名兩會社の重役である。

怪談艶子の櫛巻

▽主は花月の琵琶藝妓
▽風流紳士の吃驚仰天

當地第一流の料理店花月の藝妓艶子と云ふは宮島土産の杓子に似たる琵琶とやらを掻き廻すと云ふ風變りの所がれ眼に止まり曾つては風流宰相のれ伽に召されたることあり夫れが緣となりてか或は親の物は子のものとの定規から割り出されたるものか其所迄は兎に角として若殿樣にも御寵愛を蒙りしことさへありしとかにて嬌名南山公園の噴水位高く揚れり然るに如何にしけん夫れも束の間の誇り人の心の恃まれぬは上下貴賤の差別なく大殿若殿に二方とも申合はされたる如くフツと見返らせ賜はぬには仔細あれば怪むに足らぬも誰れ彼れを問はず一度此れに手を出したるもの〻二度と再び彼れの名を口にするものなきには必ず仔細あるべしと探つて見たるに渠は如何なる因果にやなからねばならぬ所に鬱々として繁り生ふる毛の梳ずれば膝にも及び梳わぐれば胸を超ゆる文福茶釜に生へた毛ならねど剃つても切つても直ぐ生へる過ぎたる始末に自分ながら業を煮し櫛巻にして居るのなるが斯くとは知らぬ粋人連は突然此の櫛巻に衝つかつては生血を啜る天魔の出現せし程に吃驚仰天するのなるとかさるにても昔者に竹さんなる女、僅か二本の長きため唐土まで逢くと謠はれたり、今は艶子が簇々たる長毛京畫の口を藉りて何所まで逢く／＼と謠はれなんか

仁川沖の投身

▼愛兒の寫眞を擁して

廿九日正午十二時頃仁川沖オツプン島に四十恰好の婦人の死体漂着せる旨屆出に接し仁川署より篠村巡査部長阪下刑事及び久木田醫師出張屍体を檢したるに死者は年齡凡そ四十位にして死後約十五時間を經過し銘仙カスリの羽織御召の綿入等を着し白足袋に雪駄を穿ちたる人品卑しからざる婦人にして左手に珠數を纏り脚絆を穿ち且つ頭髮さへ切り落し如何にも覺悟の投身と見へたるが腰部に寫眞約二十枚と手紙四五通を携帯せるを以て取調べし處此手紙の中一通は龍山鐵道管理局計理課長鶉尾謹親氏より草梁第二戸土井よしに宛てよしの長男榮及び榮妹某の死を悼みし悔狀にして尚ほ寫眞中に自己及び二人の子女の寫眞迄ありたれば正しく死者は前記土井よしなる事判明せしがよしの伜榮は曩きに龍山なる鐵道管理局の雇員として勤務せし事あり後濟州に於て死亡し其後其妹娘も死亡したればよしは二人の子を亡ひし結果遂に世を儚果なみ月尾島畔波部かなる廿八日の未明方投身したるものならん尚ほ死体は仁川民團役所にて假埋葬に附たり

公金横領者の逮捕

▽仁川にて金貸業
▽勳八等の帶勳者

仁川龍岡町三丁目居住の金貸業廣瀬助厳(三〇)と云ふは本年三月三日原籍地なる岐阜縣本巣郡穗積村々役場の收入役を勤務中公金二千圓を横領して逃亡し諸所遊び回つた末京城に入込み米倉町の後藤旅館に約一ヶ月間滯在し去る十六日仁川に來り稻田旅館に生糸商名古屋市倉廣五(三十)と僞名して投宿し同旅館の客引金杉清次郎を手先きにして前記龍岡町三丁目俗稱十軒長屋に居をトして表面は金貸業と巧に化け込み韓人廿餘名に對し約三百圓を貸附け殘金一千五百圓は十八銀行仁川支店に預け入れ何喰はぬ風情に世人を僞瞞し居たるも敏腕なる仁川署刑事の手に逮捕せられ右顛末を逐一自白に及びしものなりと因みに同人は勳八等の帶勳者なりと

大興監獄の椿事

▽死刑囚破獄を企て
▽一名即死二名重傷

平壤監獄大興出張所に收容せる死刑囚金正熙、桂鐸賢、李海蜂の三名廿五日夜半看守の監房巡視を機とし逃走を企てたるより大格鬪の末桂は大野看守の爲め左手を切斷され金は肝付看守に斬殺せられ李は黑川看守の爲め頭部に重傷を負はせられ漸く破獄を防ぎ得たりと苦々しき破獄沙汰の頻々たるよ

土方伯爵の來翰

櫻田十八烈士五十年祭

拜復櫻田十八烈士五十年祭典擧行ニ付キ在韓水戸出身諸士ノ醵出サレタル金圓御取次ギ御送附下サレ候處本祭典ニハ祭典費トシテハ勿論供物費等トシテモ金品ハ一切受領致サザル内規ニ有之候得者諸士ノ芳志ハ深ク感受致ス可ク候得共右金圓ハ其儘返納致候間御手數相煩ハシ候得共右ノ趣御申聞ケ夫々醵出者ヘ御返附下サレ度此段及御答候敬具

四月八日

櫻田十八烈士五十年祭典總裁
伯爵 土方久元

京城新報社御中

追テ金圓ハ受納致サズ候モ芳志ハ切ニ感謝致候事故コレガ印トシテ紀念繪ハガキ御送附申上候ニ付序ニ諸士ヘ御配布被下度候

●疑似狂犬の検診

太平町一丁目百三十二番戸杉村佐太郎の飼犬が太平町一丁目九十一番戸德永正一外數名に咬付き狂犬の疑あるより西部署に於ては警視廳獸醫をして檢案せしめたるに兇犬は狂犬にあらざる事判明せしに付飼主に對し將來の取締を注意す可き旨說諭せりと

●ハレー彗星出現

兼て待設けられたるハレー彗星は廿九日朝三時五十五分仁川觀測所平田技師によつて發見せられ凡そ三十分間位東方の中天に見る事を得たりと

●韓人少年の窃盗

中部廟洞金壽仁(十七)は一見十二の少年の如き裝ひなるが不埒にも鐘路附近を徘徊し各所に侵入し數ヶ所に於て物品を窃取し全部典當屋へ入質せし事北部署刑事の探知する事となり目下同署に引致し嚴重に取調中なりと

今日の運勢

四月卅日舊三月廿日●二黒●佛滅乙丑納△一白●衰退の日新事見合せの事保證引受を禁ず△二黒●運帶連盟及び新事見合すべし盗害畏るべし△三碧●創設開始及旅行凶疎遠過失を惹起し易し△四緑●金品授受取引證劵の事注意すべし提言要求輕諾する勿れ△五黄●共同組合婚姻の事談見合すべし其他平靜△六白●會心の日なり大抵吉衛生に留意し不和衝突ある勿れ△七赤●利得及勢位を增す日なり屆入れ及子孫の事をなす効多し△八白●改變轉局に類する事を始むるに宜し童僕の事煩累あらん△九紫●事業始め援目出願相談事効多し金屬の業務には凶

●天氣豫報

(自廿九日午後六時 至三十日午後六時)
(本町五丁目三一館判斷)

西風晴

廿八日(華氏) 最高温度 六七、七 最低温度 三九、三

廣告

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり徳商店

第六期貸借對照表

資產之部

未拂込株金 七〇、〇〇〇・〇〇〇
諸貸附金 四七六、九八四・四三〇
不動產 壹壹〇、〇四〇・壹七
營業用地所 壹〇、五貳〇・六四
家屋及什器
設金 貳、五九〇・壹壹
現金 四貳四・九四
合計 壹、三二〇、五六〇・四九

負債之部

資本金 壹、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金 四八、〇〇〇・〇〇
諸借入金 貳四六、三六六・六五
當期純益金 貳六、壹九三・八四
合計 壹、三二〇、五六〇・四九

損益計算

金四萬七千七百九圓參拾貳錢 當期總益金
內金貳萬千五百拾五圓四拾九錢 當期總損金
差引金貳萬六千百九拾參圓八拾四錢 純益金

此分配計算左の如し

金五千圓 積立金
金貳千圓 滯貸準備積立金
金貳千五百七圓拾六錢 賞與金
金壹萬五千圓 配當金 年六厘弱の割
金壹千六百八拾六圓六拾八錢 後期繰越金

右之通り候也

明治四十三年三月卅一日

京城起業株式會社

取締役社長 和田常一
專務取締役 山口太兵衛
取締役 古城菅堂
同 中村再造
同 關繁太郎
監査役 萬玉岩吉
同 梶原末太郎
同 松尾福五郎

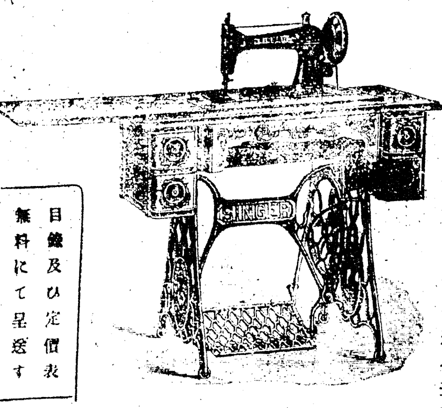
前記ノ各項調査候處相違無之候也

追而監査役滿期ニ付本月貳拾日株主總會ニ於テ改選候處梶原末太郎松尾福五郎ハ重任シ秋吉富太郎ハ新ニ當選就任致候

無報酬出張女教師付き

シンガーミシン

月賦販賣開始



目錄及び定價表無料にて呈送す

詳細は左記へ御照會被下度候

京城西小門內

シンガー裁縫機械會社 京城支店

電話一五七五番

しちや

電話一一八二番

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱ひ極めて安全に一定の場所に保管す

京城曙町

大槻商行質部

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

消毒牛乳（保證附）

フレッシユバター（新鮮乳油）

韓國畜產株式會社

南大門外（電話八八番）

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

（電話三三三）

桃花滿開 御觀覽御隨意

全山

丘上には御休憩所の設あります

京城南大門外

荒井牧塲



◎ヴァイオリンに趣味を有する諸士は來り會せよ

本會は常に正則と熱心さを以て懇切に教授す

速成科 每日午後一時より同五時まで（但日曜祭日を除き）

普通科 隔日午後六時より同十時まで

京城旭町二丁目（名古屋城上鍋島邸下）

京城音樂講習會

教師 勳七等 淺井秋水

特約販賣 自製

味噌醤油製造元

漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

支那白菜漬 朝鮮菜葉漬 大賣出し

（電話二五一番）

金魚各種 卸小賣

陸軍御用達 馬木勇吉本店

龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）

電話三六四番

茶器商 馬木勇吉支店

京城本町五丁目一番戸角

電話四七一番

明治廿年七月創立

東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣

東京 ランバート商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二 十番地

豫約募集

曾禰統監閣下題字

韓國度支部大臣官房御編纂

度支部大臣 高永喜閣下序文

[illegible]典

洋裝背皮金文字入頗美本紙數三千餘頁

定價金七圓 韓國內小包料卅錢 日本小包料五十錢

豫約方法

豫約價	金六圓 期限後ハ斷然定價ニ復ス
申込期間	六月三十日限リ
提供部數	壹千部
小包料	韓內地 金三十錢 日本 金五十錢
送金方法	韓國振替口座百十五番 東京振替口座九千五十九番

●內容見本（二錢切手封入御申越次第進呈）

日韓協約以來半島ノ形勢茲ニ一變シ百制維レ新タニ紀綱日ニ張リ最近數年ノ間新法ノ制定舊法ノ改廢頻繁ニシテ吾人ヲシテ其迎接ニ遑アラサラシム然ルニ未タ韓國ニ於テ是等法規ノ完全ナル編纂ヲ企圖セルモノナキハ日韓官民ノ等シク一大恨事トスル所ナリ韓人未タ日文ヲ讀ム能ハスシテ委任行政ニ關スル日本法令ニ對シテハ服從ノ義務アリ日人未タ韓文ヲ解スル能ハスシテ韓國ノ現行法令ヲ知ルニ非スンハ各種日韓ノ事業ニ不利ヲ蒙ムルノミナラス斯國ノ指導啓發ノ天職ヲ遂行スルニ不便ナリ本書ハ即チ斯ル要求ヲ充タサントシテ韓國ノ現行法令諸法律ヲ編纂シ韓國文ニ日本假名ヲ付シ日韓官民ノ寶庫トモ云フヘキ一大編纂物ナリ若夫內容ノ充實セルト其正確ナルトハ敢テ贅辯ノ要ヲ見ス茲ニ夥多其筋ノ命ニ基キ殆ント實費ヲ以テ江湖ニ之ヲ頒タントス而モ豫約販賣部數ニ限リアリ請フ日韓各官公署、各團体並政治家、法律家、教育家、實業家其他大方ノ諸彥此際機ヲ逸セス速ニ豫約御申込アラムコトヲ此ニ謹告ス

◎本書特色ノ要點◎

（一）現行韓國法令ハ悉ク之ヲ蒐錄シテ剩ス所ナキハ勿論委任行政ニ關スル日本法令中韓國民ノ直接知ラサル可ラサルモノハ一々之ヲ韓文ニ譯シタル上全編諺文ニハ悉ク日本假名ヲ傍書シ以テ日韓兩國人ノ通讀ニ遺憾ナカラシメタリ

（二）韓國各道ニ於ケル地方官ノ命令ニシテ官報ニ掲載セラレタルモノハ悉ク之ヲ地方別ニ蒐錄セリ故ニ地方當局者ハ勿論苟モ韓國ノ地方制度ヲ知ラントスル人々ニ對シテハ蓋シ恰好ノ指南車タラン

（三）各法令中其條文ノ冒頭ニ一々改正法令ノ年月日及番號ヲ記註シ以テ該法令ノ沿革ヲ知ルニ便ナラシメタリ

（四）坊間行ハル、法規ノ編纂書ニハ熟レモ法令ノ成案月日ヲ記載スルトモ之レ何等ノ効ナシ本書ハ即チ其公布月日ヲ掲クルコトトシ以ヲ法力發生ノ起算點ヲ知ルニ便ナラシメタリ

（五）書中ノ法令ハ本年四月一日ノ現行ナリト雖モ爾後出版ニ至ル迄テノ發布セラレタルモノハ出來得ル限リ之ヲ追錄トシテ卷尾ニ集收スルヲ以テ實ハ五月若クハ六月現行ノ法規ナリ

發行所

京城本町二丁目四十番

韓國振替口座百十五番

東京振替口座九〇五九

日韓書房

無鉛トイレット

CLUB OSHIROI

クラブ白粉

クラブ白粉は

帝國化粧品倶樂部の新製品にして

クラブ洗粉の姉妹品なり

